

平成27年9月28日

森町立宮園小学校 学校たより 第11号

森町立宮園小学校 学校たより

【全国学力・学習状況調査から】

4月に6年生を対象として全国学力・学習状況調査が行われました。本校の結果を分析しましたので、お知らせいたします。

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
静岡県	71.7	67.8	77.2	45.3	60.2
宮園小	全国平均とほぼ同じ	全国平均とほぼ同じ	全国平均より やや下回っている	全国平均より 下回っている	全国平均より やや下回っている

＜国語＞

＜よい点＞

- ・漢字を正しく読んだり書いたりする力(基本的な漢字の定着)
- ・選択肢がある問題については、概ねできた。

＜課題となる点＞

- ・二つ以上の事柄や文章を比較して整理したり、まとめたりして書く力
- ・目的に応じて必要となる情報を取り出し、関係付けながら書く力
- ・条件を満たして解答する力(問題文を十分理解しないで解答してしまう)

＜今後の対策＞

- ・伝えたい人を意識して分かりやすく書いたり、本や文章を読み、疑問に思ったことや分かったことを区別して書いたりする学習を授業の中で多く取り入れていきます。
- ・条件を満たして書く練習に取り組みます。

＜算数＞

＜よい点＞

- ・基本的な四則計算や図形に関する問題は概ねできた。
- ・生活に基づく基本的な問題は概ねできた。

＜課題となる点＞

- ・条件が複数ある場合に、すべての条件が満たされていない。
- ・割合を使った変換ができない。
- ・「わけ」を問う問題で、自分の考えを正しく表現することができない。

＜今後の対策＞

- ・条件を満たして書いたり、算数用語を使って説明したりすることの練習に取り組みます。
- ・虫食い問題等を行い、算数的思考力を鍛える指導の工夫をしていきます。
- ・自分の考えを、相手に伝えるように表現する機会を意図的に設けていきます。

＜理科＞

＜よい点＞

- ・観察カードやグラフの読み取りができた。
- ・基本的な事象や名称等を正しく覚えていた。

＜課題となる点＞

- ・一つの事象を基に、複数の科学的な思考を用いて説明や考察ができない。
- ・科学的な用語を適切に用いて、事象・原因・結果から考察等を説明する力が弱い(理由を答える問題が適切に答えられない)。

＜今後の対策＞

- ・原因と結果を科学的な言葉を使って説明できるよう、実験観察を中心に考える活動を増やします。
- ・事象を複合的に考えられるよう、現象－原因(理由)を適切に行います。

＜質問紙より＞

- ・「自分で計画を立てて学習する」「家で授業の復習をする」と答えている子どもの割合が多いです。今後も、保護者の皆さんと連携しながら、「家庭学習のてびき」等を活用し、家庭学習の時間や内容(授業の予習も含める)の充実を図っていきたいと考えています。
- ・「自分の意見を進んで発表したり、友達の意見を最後まで聞いたりする」「文章を書いたり、自分の考えを説明したりする」「話の組み立てを考えたり、段落ごとに内容を理解したりしながら読む」等に苦手意識をもつ子どもの割合が多いです。表面に記した「今後の対策」に力を注ぎ、子どもたちが「分かった」「できた」という学びの実感を味わうことができる授業を継続していきます。

【学習の様子から】

- 9月15日(火)に、県介護福祉士会から講師を招き、4年生が「高齢者疑似体験講習」を行いました。子どもたちは、関節の動きを鈍くするサポーターや歩行の妨げとなるおもり、視界が悪くなる特殊な眼鏡などを装着しました。普段通りに教室を歩いたり、箸を使ったりして加齢による高齢者の身体的な変化に理解を深めました。



- 学校では、子どもたちの学力向上のために様々な授業形態や授業展開の工夫に取り組んでいます。それらの一部を紹介させていただきます。



手作りのペープサートや紙芝居を活用し学習への意欲化を図る



子ども同士で学び合う場の設定

個人差に対応するためのT・T

内容を分かりやすく示す板書

- 9月18日(金)に、5年生が「宮園自然守り隊」と題して環境学習を行いました。講師として、君塚芳輝氏(淡水魚類研究者)、加藤英明氏(静岡大学講師)、長島康男氏(磐田用水事務局長)、榊原淑友氏(一宮の水と環境を守る会会長)が来校してくださいました。子どもたちは、講師の方々から、田んぼの周辺にすむ魚とその生育環境についての話や、森町の生き物の現状と現在の自然環境についての話を聞き、地域の自然環境や農業について考えることができました。次回は、10月27日(火)に、講師の方々に御指導をいただきながら、袴田製作所周辺の水路にて生き物採集を行う予定です。

